

令和6年度 浅利教育学園グループ法人研修 『ワクワクを大切に！～主体性を育むチームづくり』

研修① 「遊びの大切さや日常行事の繋がりについて解説」

講師 玉川大学教育学部 教授
東一の江こども園 園長
田澤 里喜



子ども主体の保育とは？
実例を用いて解説していただきました。



田澤先生の講義を踏まえ、
・子どもと保育者ともに主体性が尊重される環境になるためにできることは？
・日常生活・遊びと行事の繋がり工夫や課題についてグループディスカッションをしました。
担当年齢別のグループに分かれ、積極的な意見交換を行いました。

研修② 学園の給食について



保護者へのアンケート実施結果を踏まえ、子どもたちの声を取り入れて、魅力的な給食提供を大切にしています。

法人の大切にしている点についてたくさん学びました。

研修③ ヒヤリハットについて

ヒヤリハットとは？

日常の保育において、重大な事故や怪我にはならなかったが、危険を感じて「ヒヤリとした」ことや、「ハッとした」事柄をいいます。

各園でのヒヤリハットを共有することで、同じことが起きないように対策を立てようという認識を改めて持つことができました。

研修④ 海外報告『カンボジア CLA出向を終えて』



半年間のカンボジア出向を終えた職員より報告が行われました。
言語や文化の違いを乗り越え、保育や現地での生活を前向きに過ごした経験談は非常に興味深く、他の職員にとっても大いに刺激になりました。

ブレイクタイム 13園対抗ゲーム



研修⑤ Syouma Miyagawa マジック教室



イリュージョニスト 将魔氏から子どもの心をつかむマジックを伝授してもらいました。
子どもたちに披露できるように、先生たちも一生懸命練習しています。

研修⑥ 明日から使えるワクワク遊び実践



若手職員によるあそびの実践発表が行われました。
わらべうたあそびやダンスなど、各園の楽しいあそびに触れ、他の職員も新たなアイデアを取り入れる意欲が高まりました。

～先生たちの声～

分からなかったことや他園ではどうやっているのだろうなど、情報共有できる場を作っていただきありがたかったです。ネットで情報を得られる社会となったが、同じ法人内の保育を知る機会はないないのでためになりました。

子どもたちだけではなく、保育者同士のコミュニケーションの大切さについてよく学ぶことができました。どの場面でも活発にコミュニケーションをとることで円滑に保育を行っていくことができるのだと感じました。

研修を終えて・・・

研修テーマ「ワクワクを大切に!～主体性を育むチームづくり」を通して子どもたちの主体的な育ちと職員間のチームワークの大切さを前向きに学ぶことができました。今回の研修の学びを活かしてワクワクを大切にお仕事に取り組んでいきます!!